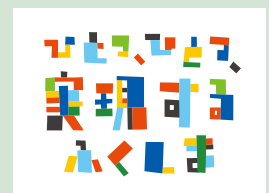


林業福島

No. **718**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 小檜山善継



6

2024

監 修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 六月の雨降る



アカマツ王国・福島

磐城森林管理署長
高塚 慎 司

福島県はスギの産地として有名ですが、アカマツ人工林の資源量が全国二位ということを知っている方は少ないのではないのでしょうか。二年前に磐城森林管理署に着任した際、車窓から見るとアカマツ人工林の多さに驚いたものです。気になって磐城森林管理署管内国有林のアカマツ資源量を調べてみたところ、なんとスギに匹敵する資源量を有していることがわかりました。

ところでアカマツとはいったいどんな木なのでしょう。菌と共生することでやせ地でも生育できる高木で、材は軽い割に硬くて丈夫、耐水性があり高温で燃えやすいといった特徴があります。このため古くから建物の梁や土台、炭鉋の坑木、焼き物の燃料材、木炭として幅広く利用されてきました。また、樹脂や松根油の採取、マツタケの生産などに欠かせない樹種でもありました。なるほど、やせ地での万能樹種だったというわけです。

丸太価格はどうだったのでしょうか。農林水産省が公表している木材需給報告書によると、昭和四五（一九七〇）年の福島県内のマツの中丸太価格は一五、〇〇〇円／立方尺、消費者物価指数から現在の価値に置き換えると四五、〇〇〇円／立方尺以上になります。

なるほど、価格面でもアカマツ造林にメリットがあったようです。そんなアカマツですが、昭和四〇年代以降、坑木や木炭としての需要が消失し、その後の住宅仕様の变化により梁や土台としてもほとんど使われなくなりませんでした。

木材需給報告書によると、福島県のアカマツ・クロマツの生産量は、昭和四〇（一九六五）年に三五〇、〇〇〇立方尺でしたが、令和四（二〇二二）年には五九、〇〇〇立方尺にまで激減しています。

このような背景もあって、浜通りには伐期を迎えたアカマツ人工林が累々と残っているわけです。

現在はチップ材等として細々と利用されているアカマツですが、やはり製材品として付加価値を付けて利用したいところです。

磐城森林管理署では、安定供給すれば使ってみようと思う製材工場が現れるのではないかと考え、昨年度からアカマツ中心の「立木のシステム販売」を開始しました。関東森林管理局長と協定を締結した上で二～三年分の立木をまとめて販売するというものです。

今後アカマツが正當に評価され、様々な用途で利用される世界を目指して取り組みを進めたいと考えておりますので、福島のアカマツをどうぞよろしくお願ひします。

《も く じ》

とびら

アカマツ王国・福島

磐城森林管理署長 高塚 慎 司	1
福島県の山地災害	2
林業研究センターだより	3～4
女性に向けたイベント「森の苗木づくりと花づくり」を開催しました	5
熱中症を防ぎましょう	6

林業アカデミーふくしま研修日誌①	7
普及指導員通信	8
森林管理署メモ	9
林災防だより	10
木の文化を育む③	11
木材市況・ふくしま東西南北	12
はなしのひろば・お知らせコーナー	13

福島県の山地災害

福島県森林保全課

○山地災害について

近年、地球温暖化や世界的な気候変動によりゲリラ豪雨と称される局所的な集中豪雨が日本全国で多発しています。最近では、令和5年9月8日～9日の台風13号による豪雨により、福島県では初めてとなる線状降水帯が発生するなど、いわき地方を中心に林地被害が発生しました。



令和5年9月8日～9日の台風13号によるいわき市の被害状況

国、県、市町村では毎年5月20日から6月30日までの期間を「山地災害防止キャンペーン」月間とし、ポスターの提示や山地災害危険地区の情報等をホームページへ掲載するなど、山地災害に対しての注意喚起を行っています。

また、県ではこれまでに、山地防災ヘルパーの認定や講習会などを行い、資質の向上を図ってきました。(令和6年4月現在95名の方が山地防災ヘルパーに登録し、災害発生時の情報提供などの活動を行っています。)

○福島県の地形・地質・自然条件

会津地方は奥羽山脈や越後山脈の広大な山地帯で急峻な山々が連なり、活火山地域特有の地質となっています。中通りから浜通りにかけては阿武隈高地があり、花崗岩マサ土地帯で表層崩壊が起こりやすいなどの特徴があります。

自然条件としては福島県（会津若松、福島、小名浜の各観測所過去30年（1991年～2020年）の年間平均降水量は約1,300ミリ（日本の平均1,700ミリ）と全国平均を下回るものの、梅雨前線や台風などによる局地的な集中豪雨の増加に加え、環太平洋地震地帯の中に位置することにより地震や火山活動が活発で、山崩れや土石流、地すべり、なだれなどの山地災害の危険を常に抱えているといえます。



南相馬市原町区の令和元年東日本台風被害復旧状況（左：復旧前 右：復旧後）

そのため、梅雨期や台風時の局地的な集中豪雨によって、どこでも大きな被害を受ける可能性があることから、土砂災害から身を守るために日頃から備えておくことが重要です。

○危険箇所を知ろう！

災害に備えるためお住まいの地域で山地災害のおそれのある箇所がどこにあるか知っておく必要があります。

福島県では山腹崩壊や崩壊した土砂の流出などが発生又は発生する危険があり、その被害が人家・公共施設等に直接影響する恐れのある地区を調査し、「山地災害危険地区」としてお知らせしています。身近に危険な箇所がないかどうか、あらかじめ確認しておきましょう。

(福島県森林計画課ホームページ)

森林情報発信システム「ふくしま森まっぷ」参照
<https://f-mori-map.maps.arcgis.com/home/index.html>



林業研究センターだより

令和5年度の 主な研究成果



クロモジの様子

福島県林業研究センター

普及に移しうる成果

(1) クロモジ採取後の保存方法による精油抽出率の違いについて

近年、アロマ用精油の原材料としてクロモジ採取が各地で行われています。採取した原材料は、しばらく屋外等で保管されますが、保管による精油抽出率への影響と、その対策について調査・研究を進めました。まず、クロモジの枝葉を三週間程度、室内で保管したところ、抽出率は二割程度減少しました。抽出率の減少は、精油成分の揮発によるものと考えられます。そこで、布団圧縮等を利用して減圧パックに密封し、携

帯できる小型の圧縮機を利用して減圧してから冷蔵保存を行いました。その結果、通常の保管に対して、二割程度抽出率は向上したので、減圧パックにより精油成分の揮発を低減することができたと考えられます。また、減圧保存することで枝葉体積を大幅に減らせることから、現地からの枝葉の持ち運びやその後の保管も容易になると考えられます。昨年度までの研究結果を踏まえ、今年度より南会津地域にて実証試験等を進める予定です。



図-1 クロモジ枝葉を減圧している様子

(2) 閉鎖型ハウスによる少花粉スギ優良品種の増産

当センターでは、少花粉スギ採種園を造成・管理し、花粉の少ないスギの種子を供給しています。採種園は主に野外に造成されるため、周辺のスギ林からの花粉が採種園に流入することで、種子の品質低下が懸念されます。そこで、農業用ハウスを利用して閉鎖型の採種園とし、花粉遮断性と通風性を併せ持つ高密度織

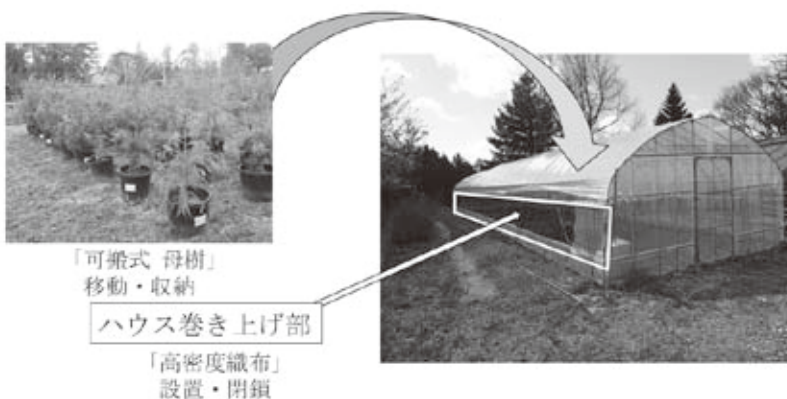


図-2 可搬式母樹と閉鎖型ハウスの様子

布をハウスの巻き上げ部に装着した結果、大部分の外部花粉の流入を防ぐことが出来ました。また、採種母樹を可搬式に仕立て、交配期間終了後に、ハウス内から外へ移動することにより、ハウス内の気温上昇による採種母樹の高温障害発生を回避できました。当センターでは、今後も生産施設の改善によって、良質な種子生産を行う予定です。

放射線関連支援技術情報

萌芽更新をおこなったコナラを対象として調査を進め、萌芽更新木の¹³⁷Cs濃度の季節的な変化、萌芽更新木の垂直方向の¹³⁷Cs濃度の分布、萌芽更新木への¹³⁷Cs移行に関する土壌交換性Kの影響等について明らかにしました。

原木しいたけに関しては、原木からしいたけへの移行係数を県内六地区で調査した結果を取りまとめ、また辺材におけるカリウム濃度が移行係数に与える影響について明らかにしました。

タケノコについては、カリウム施肥によってタケノコへの移行係数が



図-3 標準木からの樹皮の採取(左)と材の採取(右)の様子

低下することを確認しました。引き続き、コナラのきのこ原木への利用、山菜類の出荷制限解除に向けて、試験研究を進めていく予定です。

トピックス

第三六回全国林業試験研究機関協議会 研究功績賞を受賞!

森林環境部の小川主任研究員が、第三六回全国林業試験研究機関協議会研究功績賞を受賞しました。研究功績賞とは、地域における森林・林業及び木材産業に関わる研究に顕著な業績を上げた職員を毎年全国各地から十名以内で選出し表彰するものです。今回、小川主任研究員が取り組んできた「原発事故由来の放射性セシウムによる樹木汚染に関する研究」が高く評価され、栄えある受賞となりました。

研究の詳細については、「林業福島」平成二六年十一月No.603、平成二八年八月No.624、令和四年二月No.690に掲載されています。

〈小川主任研究員からのコメント〉

私は原発事故後、当センターに六年間勤務し、本庁勤務を経て令和三年度から再びセンターに戻

り、森林放射能に関する課題を担当してまいりました。この期間中、当センターの研究員等の皆様、本庁や事務所の職員の皆様、他研究機関の皆様、そして県民の皆様の協力を得ながら、研究を進めることができました。心から感謝申し上げます。森林における放射能に関する問題はまだまだ多いですが、事故以前のような森林と人々の関わりを少しでも取り戻せるよう、研究を進めてまいりたいと思います。



研究功績賞受賞式(令和6年1月)の様子

女性に向けたイベント

「森の苗木づくりと花づくり」を開催しました

を開催しました

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
福島県林業労働力確保支援センター

令和六年三月二三日(土)に、女性に向けたイベント「森の苗木づくりと花づくり」南相馬の苗木生産者と花卉農家の見学、花摘み体験」を開催しました。このイベントは、当協会が実施する森林・林業担い手育成事業の一つとして、森林や林業に興味関心のある女性に向けて見学ツアーやワークショップなどを開催するもので、年二回ほどのペースで行っています。

今回は、同イベントとしては初めて相双地区を訪れ、温暖・少雪な気候や葦浜地区の土質を生かして常時一〇〇

種類弱の苗木(針葉樹・広葉樹)を生産、全国各地に出荷する有限会社上原樹苗の見学と、新規就農者として小高区に移住、季節ごと様々な花卉栽培に取り組み株式会社ヒナタバの見学と花摘み体験を行いました。ウェブサイトや案内チラシ、知人友人のご紹介などにより情報を得た十八名の方にご参加いただきました。

東日本大震災の津波により社屋や機械、苗畑、家屋まで流されたものの、上原さんの元には全国から苗木供給を依頼する電話が鳴り続け、迷うことなく会社の再建に向かわれたとのこと。技術を学ぶため職員と共に渡欧し、林業アカデミーふくしまの講師や生産者に向けた研修会の開催など技術の継承や人材の育成にも注力されており、「苗木生産を通して、安らぎを生み出す多様性のある森づくりを目指していきたい」という上原社長の熱い思いを伺いました。

者一人である菊地沙奈さんに教わりながら、はじめに春が旬のランキユラスの花摘み体験を行いました。ハウス一面に咲く赤、黄色、ピンク、白の可愛らしいランキユラス!その中から好みの花を二〇本選び、花束を作ります。その後、菊地さんから、新規就農という新たなチャレンジを目指したきっかけや自然を相手に仕事をする楽しさ・難しさ・工夫、イベントやワークショップへの参加、ドライフラワーの楽しみ方などについてお話を伺いました。とても楽しそうにイキイキとお話する沙奈さんが印象的で、お花と共に元気もいただいで帰路に着きました。参加者の皆様は、ご両名のお話に熱心に耳を傾け、積極的に質問もされながら楽しくご参加いただいた様子でした。

資料に沿って苗木生産の流れ等について学ぶ～(有)上原樹苗～



上原社長にご案内いただき苗畑を見学～(有)上原樹苗～



菊地さんに教わりながら花摘み体験～(株)ヒナタバ～



カラフルな花束が完成しました!～(株)ヒナタバ～

女性に向けたイベントは、平成二十七年十二月に、県内における林業女子会設立の機運醸成に向けて行われた林業関係女性職員等の交流会の後、平成二八年度から毎年開催し、八年間で計十三回、参加者はのべ二一八名となりました。『林業女子会@福島』が設立し活動を始めてからは、イベントの企画や周知にご協力いただきながら、女子会の方や林業に関わる女性職員の方、一般の方など幅広くご参加いただいております。今後も、森林や林業をより身近に感じるきっかけづくりや、交流の場となるようなイベント等の開催を目指してまいります。

熱中症を防ぎましょう

福島労働局労働基準部健康安全課

福島県内の令和5年の熱中症による労働災害については、死亡者数は0人でしたが、休業4日以上之死傷者は25人で、令和4年と比べ11人増加しました。これから暑くなる時期ですので、職場での熱中症予防に取り組みましょう。

令和5年に近隣の県で発生した林業における熱中症災害事例

	発生月	被災者	発生状況
1	8月	男 60歳代	朝のミーティングを終え伐倒作業に取り掛かったが、体調がすぐれず、午前10時頃に作業を中止して小屋で水分補給をして休んでいた。昼過ぎに帰宅し横になっていたが、状態が良くなり病院を受診した。

STOP！熱中症クールワークキャンペーン

実施期間 令和6年5月1日～9月30日（準備期間4月、重点取組期間7月）
期間ごとの実施事項に重点的に取り組みましょう。

キャンペーン期間（5月1日～9月30日）にすべきこと

【STEP 1】

JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を随時把握しましょう。
地域を代表する一般的な暑さ指数（環境省）を参考にすることも有効です。



【STEP 2】

測定した暑さ指数に応じて以下の対策を徹底しましょう。

- (1) 暑さ指数の低減 事前に検討した設備対策を実施
- (2) 休憩場所の整備 事前に検討した休憩場所を設置
- (3) 服装 事前に検討した服装を着用
- (4) 作業時間の短縮 作業計画に基づき、暑さ指数に応じた休憩、作業中止
- (5) 暑熱順化への対応 熱に慣らすため、7日以上かけて作業時間の調整
※新規入職者や休み明け労働者は別途調整することに注意
- (6) 水分・塩分の摂取 水分と塩分を定期的に摂取（水分等を携行させる等を考慮）
- (7) プレクーリング 作業開始前や休憩時間中に深部体温を低減
- (8) 健康診断結果に基づく対応
次の疾病を持った方には医師等の意見を踏まえ配慮
①糖尿病 ②高血圧症 ③心疾患 ④腎不全 ⑤精神・神経関係の疾患
⑥広範囲の皮膚疾患 ⑦感冒 ⑧下痢
- (9) 日常の健康管理 当日の朝食の未摂取、睡眠不足、前日の多量の飲酒が熱中症の発症に影響を与えることを指導し、作業開始前に確認
- (10) 作業中の労働者の健康状態の確認
巡視を頻繁に行い声をかける、「バディ」を組ませる等労働者にお互いの健康状態を留意するよう指導
- (11) 異常時の措置
少しでも本人や周りが異変を感じたら、必ず一旦作業を離れ、病院に搬送する（症状に応じて救急隊を要請）などを措置
※全身を濡らして送風することなどにより体温を低減
※一人きりにしない



重点取組期間（7月）には、以下のことを実施しましょう。

- (1) 暑さ指数の低減効果を再確認し、必要に応じ対策を追加
- (2) 暑さ指数に応じた作業の中断等を徹底
- (3) 水分、塩分を積極的に取らせ、その確認を徹底
- (4) 作業開始前の健康状態の確認を徹底、巡視頻度を増加
- (5) 熱中症のリスクが高まっていることを含め重点的な教育を実施
- (6) 体調不良の者に異常を認めるときは、躊躇することなく救急隊を要請

林業アカデミーふくしま研修日誌①



○はじめに

「林業アカデミーふくしま就業前長期研修」では、新たに林業分野に就業する方を対象として、実践力を身につけた本県林業の中核を担う人材を育成します。

本シリーズでは、一年を通して研修内容や研修生の感想を紹介します。

○四月の研修内容

研修が始まって最初の講義は「社会人教養」を行いました。長期研修受講に欠かせないコミュニケーションスキルについて、自己紹介やゲームを通して学びました。四月の主な研修内容は次のとおりです。

「森林・林業の基礎」

福島県の森林や林業の現状など、林業を知る上で必要な基礎知識を学びました。

「安全の基礎」

林業における労災事故の事例などから、安全に作業することの重要性を学びました。

「林業の仕事」

森林組合等林業事業体の現場に赴

き、実際の作業を見学しました。

「林業の手道具」

ナタやノコギリなどの扱い方やメンテナンスの仕方を学びました。刃物を扱う上でのリスクアセスメントなども考えました。

「特用林産」

特用林産物の種類を学び、実際にしいたけの種駒を原木に打ち込む体験をしました。

「刈払い・伐木等業務の基礎」

刈払機とチェーンソーを操作するための特別教育を受講しました。

「チェーンソー伐木造材技術」

特別教育で学んだ基本を身につけるために、チェーンソーの持ち方や丸太を伐る時の姿勢、チェーンブレイキの徹底など細かく教えていただきました。一年間かけて安全な操作を身につけていきます。

「森林保護」

気象害、虫害、獣害とその対応などを学び、近年増加が懸念されるシカの食害対策を実際の現場で体験しました。

「就業体験」

七月のインターンシップに向けて就職ガイダンスを行い、県内の森林

組合や林業事業体でどんな仕事をしているのか、就職先を選ぶ際の留意点などを学びました。

○研修生の感想 吉田沙紀さん

アカデミーに入講してからの一ヶ月を振り返ると、密度の濃い講義内容の中、毎日がとても刺激的で驚きと緊張感あふれる日々でした。

憧れだったチェーンソー使用時に着用する保護衣に身を包むと背筋が伸びますが、自分を守るために身につける装備品に安全対策の意識も高まります。

以前は遠目に眺めていただけだった刈払機やチェーンソーを今は自分で扱えることに喜びを感じます。それと同時に日頃の点検とメンテナンスが大事になってくるため、自己責任であり確認は手を抜けないと実感しました。実習では丸太の輪切りを始めとする様々な操作の仕方を学び実践していますが、材に対して垂直に切るとは単純なようで難しく、チェーンソー操作の奥深さを感じています。チェーンソーを安全で正確にコントロール出来るようになるために、自分の課題と向き合い助言を得ながら、試行錯誤して基本に忠実に研鑽を積んでいきたいです。

座学では、森林・林業に関する幅広い知識の中でも、特に樹木の特徴や森林被害の実態が興味深く、被害



「林業の仕事」現場で使用している林業機械の説明



「チェーンソー伐木造材技術」実習の様子

に対する森林保護の取り組みを知ることができました。今後、資格取得に向けた実習が控えており益々基礎知識を蓄え本質を理解する必要があります。教わった事の振り返りを習慣づけ、実践力を備えていきたいです。

木育ワークショップによる普及啓発

福島県会津農林事務所

林業普及指導員 木村 充

○目 的

当事務所では会津産木材を活用した「木のおもちゃ」との出会いの場を創出し、ワークショップや遊びを通じて木や森林と触れ合う気持ちを育み、森林・林業への興味・関心の向上により、将来の就業促進や木材利用の促進などを図ることを目的に、令和4年度から「木育」を実施しておりますので紹介します。

○取組内容

日 付	場 所	対象者	内 容
令和4年11月19日～20日	アイデミきたかた	一般(52名)	「木のおもちゃ体験」、「桐の赤べこキーホルダー」
令和5年2月17日～19日	福島県立博物館	一般(261名)	「木のおもちゃ体験」、「桐の赤べこキーホルダー」、「木の端材工作(マグネット、花)」
令和6年5月5日	福島県立博物館	一般(124名)	「木のおもちゃ体験」、「桐の赤べこキーホルダー」、「木の端材工作」、「林業レンジャーになってみよう!」

○取組内容

令和4、5年度は会津桐をはじめとした県産材を使用したおもちゃの遊び場を設け、木のぬくもりと手触りの良さを子どもたちに感じてもらう取り組みを実施しました。

今年度は、前年度から県立博物館と打合せを重ね、GWに3日間に渡り開催された県立博物館主催イベントの最終日に木育を実施させていただきました。学芸員からのアドバイスもあり、従来からの木のおもちゃ体験、会津桐を材料とした赤べこキーホルダーの作成(絵付け)、木の端材と木工ボンドによる工作の他、学習効果を高めるためにワークショップの使用樹種である桐やスギの苗木を実物展示することや、森林の機能や役割を説明するパネルの展示、近年のおしゃれな林業用作業着やヘルメットを装着し、林業レンジャーになりきる企画も実施しました。



木のおもちゃ体験の様子



林業レンジャーになってみよう!

○実施結果

県立博物館の広報により、桐の赤べこキーホルダーの作成を目当てに来場する御家族が多く、当日は120名以上の来場者を得ることができました。用意していた60キットはお昼過ぎには予約で一杯となり、人気の企画となりました。また、実際に苗木に触れていただきながら、桐玉植苗の取り組みやスギコンテナ苗による省力化を紹介した他、林業装備の装着体験では、トイチェーンソーで遊びながら楽しく記念撮影をする御家族に、林業現場での作業内容や次世代を担う林業従事者の育成・確保の必要性について説明を行いました。木製品との触れ合いや各種体験を通して、幅広い世代に森林・林業について関心を持っていただけたイベントとなりました。

反省点としては、会場入口で実施した体験コーナーに足を止めた来場者が1/3程度と少なかったため、室内のキーホルダー作成の待ち時間に体験していただくなど、より多くの体験コーナーに参加できるようにイベントのレイアウトを工夫したいと思っております。

○今後の展開

これからも引き続き、県立博物館や管内市町村と連携を図りながら、各種イベントに参加する形で、木育ワークショップを展開していきます。イベントの集客や体験者の満足度を高めるため、楽しい内容で実施することも大事ですが、木や苗木に触れるといった実体験の重要性を考慮し、より森林・林業の魅力が伝わる内容に発展させたいと考えております。

森林管理署メロ

防草シートを利用した 下刈作業の省力化に 向けた取組

日本の林業は、木材価格の低迷や造林費用の負担が大きいことを理由に、主伐や主伐後の再造林が進んできませんでした。

当署では、特に労働者への負担が大きく、コストが掛かる下刈作業を省力化することで、再造林費の低減を図れるのではないかと考え、令和四年度から苗木を囲うような形で防草シートを設置（図1）し、雑草木の発芽、成長による植栽木への被圧を抑制することで下刈回数を減少させられるかを調査しています。

調査の方法としては、まず国有林内から斜面の傾斜や向きなど条件の違う箇所を選定し、試験地とします。（令和四年度は二箇所、令和五年度は三箇所選定）その後、試験地の中から無作為に四〇本の樹高・根元径・枝張を測定し、そこを標準地とします。標準地と同様の条件になるよう、防草シートを設置していな



防草シート試験地

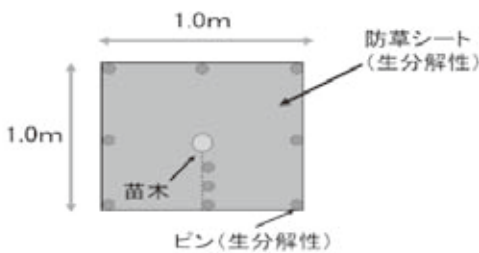


図1 防草シートの詳細

品名	規格	1枚当り(円)	1枚当り(円)	1ha当り(円)	1ha当り(円)
防草シート	生分解性、3m×100m(300㎡)	520	380	1,040,000	760,000
E-ピン	生分解性、L=150mm	374	500	748,000	1,000,000
竹ピン	L=150mm	21		42,000	
計	防草シート+E-ピン	894	880	1,788,000	1,760,000
	防草シート+竹ピン	541		1,082,000	

表1 防草シート価格

い箇所から対照区を設定し、標準地と同様に調査を行います。調査時期として設置から一年目の箇所は植栽時期である五〜六月、苗木の成長が止まる十一月〜十二月の一回、二年目の箇所は十一月〜十二月の一回としました。

また、経費の削減を検証するため、令和五年度は四年度に使用して



棚倉森林管理署

いた生分解性のエコピンの他に、竹ピンを試験的に使用しました。もし竹ピンのみで設置が行えるようであれば、表1のとおり経費削減に大きく繋がるのが期待されます。

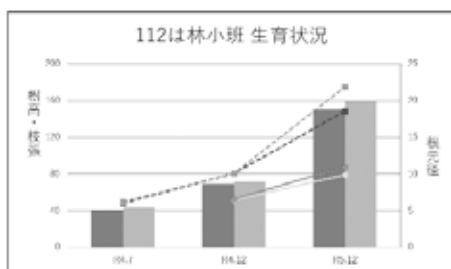
このように、工夫しながら実施してきた防草シートを利用した下刈作業の省力化への取り組みですが、調査の結果としましては、あまり良好とは言えない状況です。

まず、全体を通して苗木の生育に大きな差が見られませんでした。（表2）その他にも「周囲の雑草木による被圧を抑えきれない」「雑草木によりシートが剥がれる」「竹ピンは外れやすい」「一部の標準地で枯死が多く見られる」等の問題が発生しました。また、防草シートの設置作業をした作業員等からは、「急傾斜

地では設置が容易ではない」「竹ピンは防草シートに刺しにくく手間がかかる」「シートのサイズが小さいのではないかな」等の意見が挙げられました。

これらの結果から、防草シートは設置から短期間では成果が出にくく、透水性はあるが乾燥しやすい場所は設置箇所として適さないことが考えられます。また、竹ピンのみで設置を行うには安定性と労力が追加が必要であると明らかになりました。

まだ二年間の調査しか行っていないため防草シートによる成果は検証途中ではありますが、改善点も多く残されており、今後もより一層検討を重ねていく必要があると考えています。



枯：標準地6本
対照区0本

表2 生育状況

凡例

- 樹高(標準地)
- 枝張(σ)
- 根元径(σ)
- 樹高(対照区)
- 枝張(σ)
- 根元径(σ)

「林一災一防一だ一より一」

林業労働災害防止協会 福島県支部

令和六年度事業計画

日頃より、当支部の運営に御支援・御協力を頂き感謝申し上げます。当支部では、林業の労働災害防止への取り組みとして、安全衛生教育、技能講習、集団指導会等の実施や安全衛生技術情報・労働災害情報提供などを通じて、林業の現場で労働災害防止活動が着実に実践されるよう、さまざまな事業活動を展開しています。

○令和六年度事業計画の基本方針

第十四次労働災害防止計画及び林業労働災害防止計画（二〇二二～二〇二七年）の初年度（令和五年）の県内の年間死傷者数を見ると、林業においては、三九名の発生があり令和元年～令和四年平均の三〇名と比べて三〇割の増加となりました。また、木材木製品製造業においては、十七名の発生となっており令和元年～令和四年平均で二八名と比べて大幅な減少となりました。

このことから、新たな五カ年計画（死傷災害五割以上の減少）を達成すべく、より確実な対策を県・林業関係団体と連携しながら取り組むものとしています。特に、昨年度に引き続き、厚生労働省が伐木等作業における安全対策として定めた「労働安全衛生規則の一部改正」及び「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」並びに新たな「林業・木材製造業労働災害防止規程」（令和五年十二月十一日適用）の内容を会員並びに関係林業事業体に対し周知を図るとともに、以下の事業を積極的に取り組みます。

○実施事項（主たるもの）

具体的に取り組む事項は以下のとおりです。皆様の御協力を得ながら進めていく計画ですのでよろしくお願ひします。

1 安全衛生管理活動事業

先山ゼロ災害推進巡回指導、安全

- 2 労働災害防止特別活動推進事業
振動障害特殊健康診断受診の促進など
- 3 安全衛生教育支援事業
林業架線作業主任者・木材加工用機械・伐木等特別教育・機械集材装置・車両系木材伐出機械・刈払機・ロープ高所作業・伐木等業務従事者安全衛生教育の実施や伐木初心者に対する伐木実技訓練、林業アカデミーふくしまに対する安全指導や実技指導等に関する協力など
※実施日時等はホームページ（<http://www.fmkuren.jp/>）を参照してください。
- 4 安全衛生対策支援事業
講師の養成、安全衛生大会、チェーンソー選手権公式審判員の養成、林業の技能検定制度技能評価者養成等の協力、地域協議会への参加など

- 5 林業労働災害防止に関連する受託業務
緑の雇用現場技能者育成、緑の雇用林業労働安全推進対策、伐採安全アドバイザー事業受託など

- 6 会員への補助事業等
安全装備（ヘルメット、保護衣、安全ブーツ、防振手袋）購入補助、振動障害二次健診の受診補助、木材加工用機械技能講習支援など



伐木等特別教育



林業架線作業主任者講習

木の文化を育む⁶³

古材の魅力を活かす〜新たな価値の創造〜 木村徳蔵古材額縁商店
(GALLERY&CAFE TOKUZO)

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子

○はじめに

近年、サステナビリティの観点より既存のものを有効に活用する、保存や再生の思考が求められる時代となりました。古き良き日本のものを現代に残してゆくとともに、有効に活かすために再生することで、また違った魅力が引き出されます。古い家屋の解体や改修を行う際に、再利用できる材として活路を見出している「古材」は、自然素材ならではの経年変化による独特の色合いや温もりある風合いの良さが老若男女に好まれており、今では入手困難な上質な材として見直され、住宅や飲食店などの建材やインテリアとしても需要が高まっています。

○GALLERY&CAFE TOKUZO

「GALLERY&CAFE TOKUZO」(須賀川市)のオーナー木村徳蔵さんは、東日本大震災後、住宅兼店舗および倉庫として使用されていた昭和初期の建物を自ら改築し、約二年の月日を重ね、「モノづくりをして

いる作家さんとお客さんを繋ぐ場として気軽に利用できるギャラリー&カフェをつくりたい」という想いで「GALLERY&CAFE TOKUZO」をオープンしました。二階建ての店内は一階、二階ともにギャラリー&カフェスペースとなっており、テーブル席の他、フリースペースが設けられています。木村さんが趣味で収集した数々のアンティーク品や古材で制作した額縁が飾られており、レトロな雰囲気を醸し出しています。

○新たな価値の創造

木村さんがデザイン・制作する額縁やオブジェの素材は家屋を解体した際に出た建具や古材、かつて生活の中で使用されていた古物が活用されています。囲炉裏で燻され黒色に経年変化した障子戸や天井材を利用した額縁、額縁制作時に出る古材の端材も捨てずに額縁として再利用します。「端材」とは言えそれぞれが長い歴史を刻んできたもの、捨てずに使用し額縁やオブジェを制作してい

ます」と木村さん。

一〇〇年以上経過した古材の落ち着いた複雑な色合いは、新材では出せない独特の魅力となり、私たちがノスタルジックな世界へと誘います。

○こだわりの素材と工夫

木村さんのこだわりは、人工的な化学物質を使用しない自然素材を用いることです。無垢の木材や岐阜の手漉き和紙、柿渋等、昔ながらの自然素材を積極的に使用する他、階段や設備も解体する建物の階段や行き場のない設備をそのまま移設しています。素材の持つ良さや使用されなくなったものに新たな価値を見出し、創造する工夫は店内の至る所に見られます。

○人が集まる活躍の場

「GALLERY&CAFE TOKUZO」では、これまでにさまざまなジャンルの作家が集まる個展の場として、また蓄音機による音楽会やライブ、チェロコンサートなども開催しています。人が集まり、それぞれが得意とすることを発揮できる活躍の場として、ギャラリー、喫茶、シヨップングも楽しめます。

○まとめ

「住宅系の古材(特に建具)や歴史ある道具など、どの材料をどう使うかが難しいが、一〇〇年、一五〇年の時を経た古材の端材は捨てられ

ない」と木村さん。須賀川市で開催される工芸展や協会展に古材の端材を活かしたオブジェを毎年出展しています。木村さんの作品は「GALLERY&CAFE TOKUZO」にて購入できるほか、オーダー制作も受付けています。時を経た古材ならではの魅力に、あなたも触れてみませんか。



第89回須賀川美術協会展 出展作品
題名：時空 1300mm×700mm×150mm



大正時代の障子を使ってヘリンボーン柄を組み合わせた額縁

県森連いわき共販における木材市況（5月分）

令和6年6月1日
福島県森林組合連合会

(単位：㎡当り千円)

素 材						素 材					
樹種	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	摘 要	樹種	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	摘 要
スギ	4.00	9下	12.0	11.5		カラマツ	4.00	12下			
		10~13	14.0	13.5				13~14			
		24上	13.8	12.0				16上			
	3.65	16上				クリ	4.00	16上	17.2	16.0	
		24上	12.8	12.2			3.00	16上	13.0	11.5	
	3.00	9下	10.2	8.0		モミ	4.00	20上			
		10~13	12.0	11.5							
		14~16	12.4	12.0							
		18~20	14.7	14.0							
	6.00	22上	14.6	14.0		市況概要と市況展望		6月の共販日			
16~20					入荷は良好です。販売量は2,642㎡（前年同月比128%）でした。 市況は、スギ3.00m柱材、中目材ともにほぼ横ばいを保ちました。 スギ4.00m材もほぼ横ばいを保ちました。 スギ小径木（3.00m、4.00m）が不足しております。造材方よろしくお願い致します。 この先、状況によっては虫害が発生しますので伐出の際は十分にご留意願います。				7日(金)		
2.00	16上	7.5	6.0						17日(月)		
ヒノキ	4.00	10~13							27日(木)		
		14~16	15.6	15.0							
		18~20	16.8	16.0							
		22上	17.2	16.8							
3.00	16~20	14.6	14.0								
アカマツ	4.80	18~22									
	4.00	18~22									
		24上	11.0	10.5							
	3.00	16~22									
24上		10.5	10.2								
行事とお知らせ											
県森連の木材市況は、県森連のホームページでもご覧いただけます。											
福島県森林組合連合会 木材市況										検索	

田村市には、市が指定している文化財が一一〇以上あり、その中には杉や松などの巨木も多く指定されています。五月の休日にその中で三つの文化財を巡ってきましたので、それらを紹介したいと思います。なお、手軽に巡ることをコンセプトに、田村市役所周辺の箇所を選定してみました。

一つ目は、「熊野大権現堂の杉と藤」です。こちらは田村市役所から車で約一〇分程度の田畑の中に位置しています。小面積の境内の中で存在感を示していたのがこの杉と藤です。根回り約八メートルで樹高が約二十四メートル、樹齢が約六〇歳以上と推定される大きな杉も圧巻なことに加えて、その杉に藤の木が複雑に絡みついていて姿は見応えがあります。その藤も推定で樹齢が三〇〇歳以上あるそうです。



安倍文殊菩薩堂参道の杉並木

二つ目は「安倍文殊菩薩堂参道の杉並木」です。入り口の鳥居から杉並木が広がっておりその間を約三〇メートル、一〇分程度登ると御堂があります。杉並木の中は静寂に包まれ、時折鳥のさえずりが聞こえ、落ち着いた雰囲気があります。御堂に到着すると、日頃の運動不足のせいかもしれません。爽やかな気持ちになりました。

三つ目は、「鹿山神社の大イチョウ」です。鳥居から砂利道を少し渡った先に境内の入り口があるので、このイチョウはそのすぐ側にそびえ立っており、とてもインパクトがあります。今回は五月のため緑に包まれていましたが、秋には一面黄色に染められた綺麗な様子が見られると思います。いかがでしょうか、皆さんも近くの巨木をチェックして巡ってみてください。



田村市の巨木を巡って

福島県農林事務所 三瓶裕生

表紙の写真



「六月の雨降る」

第38回ふくしま緑の写真コンクール
入選
受賞者 鈴木達也さん(白河市)
撮影場所：埴町
撮影スポット：上渋井ハス園

発行人
飯沼隆

陽光社印刷株式会社
(定価 一〇〇円)

発行
行

飯沼隆

編集

福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究・整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
(福島市中町五番一八号県林業会館内)

はなしの ひろば 白

幼かった桜の葉も、いちまい、いちまい遅しい形になり、集団で六月の眩しく暑い光を大きな傘のように遮ってくれるほどになった。地面にできる緑陰がとてもいい。そして、緑も一段と濃く熟した色合いになってきた頃、あちらこちらに白い花びらのような苞(花の集まりの基部にある特殊化した葉)が四枚と花の集まりが一個のドクダミが目につくようになる。この四枚の苞のサイズだが「大きいのが一枚、中くらいのが二枚、小さいのが一枚。まず大きいのが開き、次に左右の二枚、小さいサイズのものは最後まで花序を包んでいる」―緑花文化士 柴田則夫氏―最後まで花序を包み込んでいるのが一番小さなサイズの苞とは何とも健気である。こんな小さなドクダミにも自然の摂理があり、驚きと納得の感動だ。名に「ドク」がついているが、無毒であり、むしろ古くから民間薬として利用され、生薬として十薬とよばれている。また、繁殖力が強く、ちぎれた地下茎からでも繁殖するというから、うっかりしていると、いたるところで、始めまして「ドクダミ」と対面することが多い。

六月の雨に濡れたドクダミの「白」は、特に明るく、混じり気のない色だ。花言葉は確か「白い追憶」。この純粹無垢な白を眺めていたら、花言葉を命名した人が、清らかな思い出を思い起こしたに違いない。再びの納得である。

(都)

お知らせコーナー

林政支援課を新設しました

―福島県森林・林業・緑化協会―

当協会では、森林・林業に関する取組が将来に向けて力強いものとなるよう、森林環境譲与税を財源とした森林経営管理制度等の推進や、林業事業者が実施する林業活動に関する支援業務を強化するため、令和6年度より、林政支援課を新設しました。

また、県内市町村を対象に、森林・林業に関するお悩みに関する相談会(無料)を開催することとしておりますので、お気軽にご相談ください。

※林政相談会申込書は当協会のHPをご覧ください。

【林政支援課の業務内容】

1 市町村からの受託業務

- (1) 森林経営管理推進に関する業務
- (2) 林業推進に向けた計画策定等に関する業務
- (3) 地域林政アドバイザーに関する業務
- (4) 森林委員会等の運営に関する業務
- (5) その他

2 林業事業者等からの受託業務

- (1) 森林経営計画策定に関する業務
- (2) 森林施業プランの策定に関する業務
- (3) 森林内の調査・測量・管理に関する業務
- (4) 森林の評価に関する業務
- (5) その他

【連絡先】

(公社)福島県森林・林業・緑化協会 業務部 林政支援課

住所 〒960-8043 福島市中町5-18 (林業会館内)

TEL (024)529-5840 FAX (024)521-3246

E-mail kyokai-gyomu@fukurin-net.jp https://www.fukurin-net.jp

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》



たもち

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合



そよりん

イワフジのGPシリーズ
グラップルプロセッサ

GP-35B

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

製品情報



傾斜地に対応した全回転チルトプロセッサ

- ・最大38度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- ・全回転ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- ・サイドカット解除機能により曲がり材に対応
- ・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材
- ・GP-CANコントローラを搭載
- ・新開発のスタッドローラ

For the future with forest



イワフジ工業株式会社

<http://www.iwafuji.co.jp/>



(仙台支店) 〒981-3133 宮城県仙台市泉区中央1丁目16-6
TEL 022-347-3689 FAX 022-347-3699
(本社・工場) 岩手県奥州市水沢字校屋敷西5-1
(支店) 札幌・東北・仙台・関東・中部・関西・中四国・九州



東北コピー販売

福島office 福島市御山一本松13番5号 TEL 024-559-0245
郡山office 郡山市富田町後久保60-1 TEL 024-961-1961

<https://t-copy.co.jp>



人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

ZHM1550RR



SR3100

For Professional

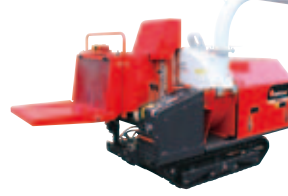


GZ3950EZ
排気量 39.1cc

GZ4350EZ
排気量 43.1cc



刈幅：1500mm 出力：27.5kW



破砕径：200mm 出力：18.4kW



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店
(有) うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1